

Vincent Guyonnet (古文森), DVM, Ph.D, Dipl. ACPV.

Managing Director, FFI Consulting Ltd.

Brockville, Ontario, Canada

Vincent.guyonnet18@gmail.com



ギョネ先生はフランス出身で、1987年にリヨン獣医科大学で獣医学博士を、1991年にはジョージア大学（アメリカ）で家禽科学博士を取得されました。また1994年には米国家禽獣医師協会（American Collage of Poultry Veterinarians）の専門医資格を取得されています。

ファイザー社のアニマルヘルス事業会社（現ゾエティス）に就職後は、技術やマーケティング、マネジメントに15年間従事されました。

2005年から2015年にかけては、カナダのバンブレア・ファームズ社に勤務、タマゴの生産と加工（選別、割卵とその後の加工）、新商品の開発と品質保証を担当されました。同時に、International Egg Commission（IEC）の科学顧問も務められました。国際獣疫事務局（OIE）、国際連合食糧農業機関（FAO）、世界銀行とも関わり、動物福祉や温室効果ガスの排出、食品安全、栄養、食料安全保障、動物生産の持続可能性などの地球規模の問題の解決に向けて尽力されました。

2015年から2017年には、アジアや、サハラ砂漠以南のアフリカ（サブサハラアフリカ）の小規模農家を対象にした、家畜家禽類用新ワクチンの研究構想リーダーを務めました。この研究にはビル&ミリンダ・ゲイツ財団が研究資金の一部を援助していました。

現在は、FFI コンサルティング社の一員として、タマゴ生産、市場開拓、ヒトの栄養面へのタマゴの役割に重点を置いた家禽分野コンサルタント業務にも携わっています。また、地球規模で食の安全安心や健康栄養の課題に向き合い貢献ができるよう、家禽農家をさらに支援する国際的な開発プログラムにも重点をおきながら活動しています。

これまでに4冊の本を執筆し、論文掲載の実績も多く、国際会議の場では招待演者として活躍されています。家禽科学やタマゴに関連する食品科学の教育にも取り組んでおり、中国の吉林大学や中国農業大学の特別講師も務めています。